

ひとわざ(一技)名: 産学官に金融を加えた産学官金連携により地域貢献を進めている

## 1. 概要(200字目安)

山梨大学は「地域の中核、世界の人材」をキャッチフレーズに掲げ、地域社会の中核として地域の要請に応えることができる、優れた課題探求能力と応用力を持ち国際的に活躍できる人材の育成を目指しています。

また近年では、産学官に金融を加えた産学官金連携を、本年度からの農業系の生命環境学部創設もあわせ、地域貢献を進めております。

## 【来場者へのメッセージ】

共同・受託研究や技術相談案件、プロジェクト検討について、またインキュベート施設入居など、お気軽にご相談ください。

## 写真・図(要点説明)

[環境・エネルギー]燃料電池・太陽電池等のクリーンエネルギー技術、バイオマス技術  
[化学・材料]導電性高分子を用いた機能性材料、極細繊維の製造技術、人工水晶の育成技術  
[機械・分析]ナノ加工技術、質量分析技術、超臨界流体を用いた成膜技術  
[電気・電子]大気圧プラズマ技術、レーザー加工技術、情報通信・IT関連技術  
[バイオ]バイオリクター技術、バイオセンサー  
[医療]臨床薬理技術、疾患治療薬の探索・評価、各種疾患の治療・予防方法  
[生命環境]「生命科学」「食物生産・加工技術」「環境・バイオマス」「食品経済」

## 共同研究

民間機関等から研究者及び研究経費等を受け入れて、共通の課題について共同して研究を行う。

## 受託研究

民間機関等から委託された課題について研究を行う。

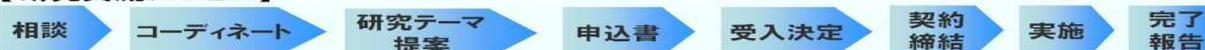
## 技術指導

民間機関等から持ち込まれる技術的課題に対して相談・指導等を行う。

大学との研究交流のメリットは、大学の研究者と協力して企業ニーズに応じた研究を進められること、研究設備を利用できるなど、大学に蓄積された専門的な知識や研究技術を活用し、優れた研究成果を得ることが期待されます。

- メリット1 研究分野の専門家から適切なアドバイスが受けられます。
- メリット2 既存技術の見直しや新たな発見が期待されます。
- メリット3 大規模な資金や設備を必要とする研究開発、データ集積、試験などにも取り組むことができます。
- メリット4 研究員の能力開発、人材育成につながります。
- メリット5 大学キャンパス内に、共同研究企業やベンチャー企業に部屋貸しするインキュベーション施設を設置しております。

## 【研究交流プロセス】



山梨大学では産学官連携の一元的窓口として、産学官連携・研究推進機構を設置し、産学官連携の推進に取り組んでおります。これまでに、垣根の高いイメージのあった大学の知的財産も、より企業の皆様に活用しやすくなっております。

## 2. 企業概況

会社名	国立大学法人 山梨大学	代表者名	前田 秀一郎
		窓口担当	還田 隆(カンダ タカシ)
事業内容	教育・研究・技術の提供	URL	<a href="http://www.yamanashi.ac.jp/">http://www.yamanashi.ac.jp/</a>
主要製品	教育人間科学部・医学部・工学部・生命環境学部		
住所	〒400-8510 山梨県甲府市武田四丁目4番37号		
電話/FAX	055-220-8758(TEL) / 055-220-8757(FAX)	E-mail	<a href="mailto:tkanda@yamanashi.ac.jp">tkanda@yamanashi.ac.jp</a>
資本金(百万円)		設立年月日	昭和24年5月
		売上(百万円)	
		従業員数	1689人

## 特記事項